

三重大学地域戦略センターの活動（実施例③）

（4）産業：県内企業の海外連携、海外展開

三重県は、中小企業と三重大学との連携強化等を通じて、県内企業の海外展開を積極的に支援している。
こうした取組のなか、三重大学は、平成23年4月に地域のシンクタンクとして日本の国立大学初のケースとなる「三重大学地域戦略センター（RASC）」を設立。



三重大学地域戦略センター
Regional Area Strategy Center

RASC

①三重大学地域戦略センター(RASC)の取組

RASCは、地域社会の再生、新たな産業の発展、環境に対する解決策やエネルギー問題、医療・福祉問題などへの効果的な政策と戦略を提供し、三重県がこういった政策を実現するために、実際のプロジェクトを実施している。

三重大学の国際連携は、三重県の産業政策と極めて密接に連動

航空宇宙産業を支える人材育成機関との連携！

【地域の課題】

- 産業構造の多様化を図る必要がある。
- 航空宇宙産業は今後の成長が期待できるが、県内に関連企業が少ない。
- 中部地域では、装備品・MROの集積の弱みと人材育成の遅れが課題となっている。

海外ネットワークを活用した最先端の技術者育成に取り組むことが必要！

サウス・シアトル・カレッジ（SSC）との基本合意書を締結



SSCとのLOIの締結
2014年8月25日
ワシントン州にて

ワシントン州で、ボーイング社等からのニーズを踏まえた人材育成を行っているSSCと、来年度からの具体的な人材育成プログラムの実施に向けて、三重大学地域戦略センター（RASC）が基本合意書を締結。

愛知県、岐阜県にも門戸を開き、中部地域の航空宇宙産業の発展に貢献することを目指す。

みえ航空宇宙産業振興ビジョン（案）

【国内や海外の専門機関等と連携した人材育成】

国内や海外の専門機関と本県（三重大学等）が構築してきたネットワークを活用して航空宇宙産業を支える人材を育成する。

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム（文部科学省事業）
産学官が参画する地域協議会を設置予定。
企業からの寄付金募集など事業の実施に向けた取組を推進していく。

産学官連携の三重大学モデル

地域戦略センター (RASC)

(平成24年度設立)

地域自治体への政策提言と地域活性化プロジェクトの実行組織

地域イノベーション学研究科

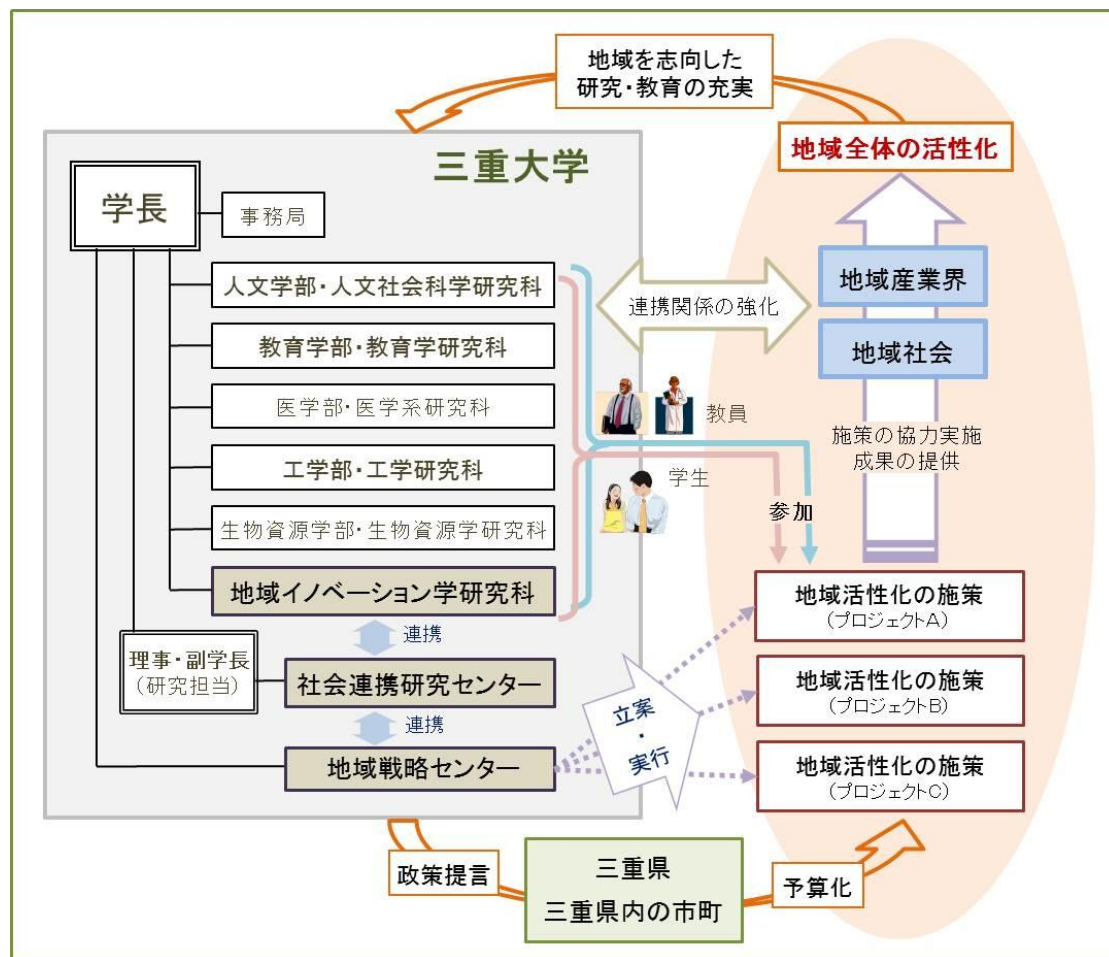
(平成21年度設立)

産業界・自治体と連携した人材育成と技術開発に特化した大学院

社会連携研究センター

(平成16年度設立)

三重大学の産学連携活動の企画・運営、知財管理を行う中核機関



三重大学の目標 三重から世界へ 地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。
～人と自然の調和・共生の中で～

社会貢献の目的 教育と研究を通じて地域作りや地域発展に寄与するとともに、地域社会との双方向の連携を推進する。

三重大大学の社会連携(産学官連携)の考え方

1. 三重大大学には、三重地域圏の「**知の拠点**」として機能する使命がある。このため、「**社会連携部門**」を教育・研究部門と**対等な学内組織**とし、大学知財の社会還元推進の司令塔と位置付ける。

○三重大大学での取り組み

- ・産学連携による教育研究に特化した「**地域イノベーション学研究科**」を設置した。(平成21年)
- ・大学が地域貢献するためのシンクタンクとして「**地域戦略センター**」を設置した。(平成23年)

2. 三重大大学としての社会連携の目的を明確にし、**地域社会と共有**させる。

○三重大大学での取り組み

- ・産学連携の目的を「**地域産業の成長を支援することで地域と共に発展する**」と明確化している。
- ・地域産業界の重鎮が「**客員教授**」として大学教育・組織改革に参画している。
- ・地域行政機関と協働できる体制を整えている。

3. 地域で活動する人々が分け隔てなく集まり、協働作業ができる「**地域のたまり場**」として機能できる唯一の機関は「**地方大学**」である。

三重大学が存在し続けるために

○三重大学の産学連携活動に関する基本的な考え方

日本は中央集権の行政システムで国力を高めてきたため、地方自治体の職務には国の事務を代行する機関委任事務の比重が大きく、各自治体は事務執行の能力は高いが、地域特性に合わせた施策を単独で立案・推進する力は十分とは言えない。この状況は三重県及び県内の市町でも生じており、地域社会が成長期から成熟社会に移行し、各自治体に対して地域再生に向けた独自施策を講じることが期待される段階に至って、「**地域特性を生かした成長を牽引する有効な施策**」が打ち出せないジレンマに陥っている。一方で国立大学は、運営費交付金を継続して削減されており、三重大学のような地方大学には「**存続する意義**」を明確にすることが求められている。

三重大学は、以上の背景と認識に立ち社会連携体制の整備と強化を行ってきた。即ち、県内唯一の国立大学である三重大学には、地域を熟知する総合大学として「**地域が抱える根源的な課題を自治体、産業界と共に解決する総合シンクタンク**」として機能することが求められており、「**地域を再生させる原動力**」として機能する義務がある。このような認識に立ち本学は、今の時代に必要とされる「地方国立大学が果たすべき役割」を具現化するための体制整備を行い、「地域の課題解決のための政策提言と政策実現のための施策(地域活性化プロジェクト)を本学が総力を挙げて取り組む仕組み(地域課題解決の三重方式)」を起動させ、一定の効果と実績を上げてきた。



「学内社会連携体制の強化」+「全学体制で社会連携に取り組む仕組みの構築」

社会連携部門と5学部6研究科が地域企業との共同研究・受託研究で有機的に連動できる仕組みの構築

「三重県と政策連動した社会連携(産学官連携)の強化」

地域自治体の産業振興政策と有効に連動する産学連携が実施できる仕組みの構築



「地域イノベーション大学」という新しい大学像への変革

地方国立大学の産学官連携活動でNo.1の実績

(平成26年度現在)

地域を志向した研究・教育の充実

地域全体の活性化

三重大学

学長

事務局

人文学部・人文社会科学研究科

教育学部・教育学研究科

医学部・医学系研究科

工学部・工学研究科

生物資源学部・生物資源学研究科

地域イノベーション学研究科

連携関係の強化

地域産業界

地域社会

施策の協力実施
成果の提供

教員

学生

参加

地域活性化の施策
(プロジェクトA)

地域活性化の施策
(プロジェクトB)

地域活性化の施策
(プロジェクトC)

連携

理事・副学長
(研究・情報担当)

社会連携研究センター

地域戦略センター

立案・実行

政策提言

三重大
三重県内の市町

予算化

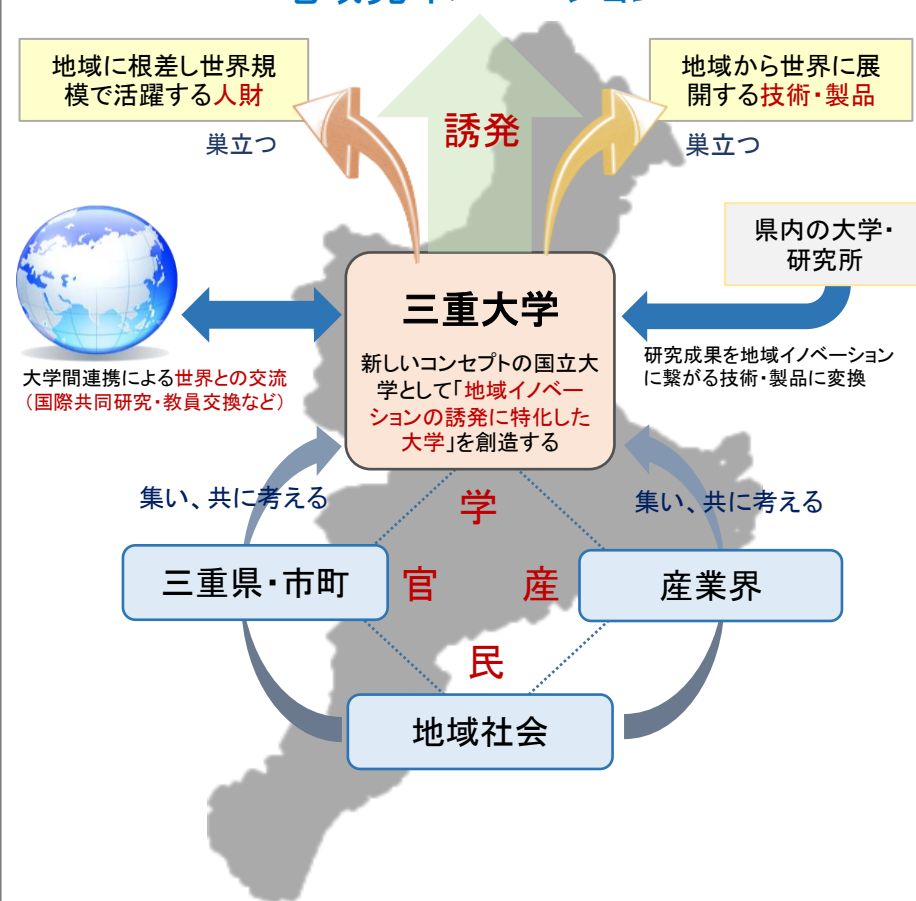
「産学官連携の三重モデル」

- **地域戦略センター（RASC）（平成23年度設置）**
地域自治体への政策提言と地域活性化プロジェクトの実行組織
- **地域イノベーション学研究科（平成21年度設置）**
産業界・自治体と連携した人材育成と技術開発に特化した大学院
- **社会連携研究センター（平成21年度設置）**
三重大学の産学連携活動の企画・運営、知財管理を行う中核機関

産学官連携体制整備の経緯と現状

「地域イノベーション大学」という新しい大学像への変革

地域発イノベーション



地域イノベーション大学としての機能強化
(平成28年からの第3期中)